



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社今仙電機製作所

コード番号 7266 URL <http://www.imasen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤掛 治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 大野真澄

TEL 0568-67-1211

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日

平成26年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	55,614	4.6	2,143	△9.9	2,112	△35.7	1,547	△32.5
26年3月期第2四半期	53,192	26.6	2,378	31.1	3,288	78.1	2,293	98.0

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 334百万円 (△92.3%) 26年3月期第2四半期 4,316百万円 (340.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	84.32	74.41
26年3月期第2四半期	130.07	110.26

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	84,474	44,833	44,833	44,833	52.6	2,170.48
26年3月期	88,209	42,561	42,561	42,561	47.8	2,376.72

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 44,473百万円 26年3月期 42,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
27年3月期	—	14.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	112,700	2.2	5,000	7.3	5,200	△14.8	3,800	△18.8	185.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	21,036,826 株	26年3月期	18,290,486 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	546,726 株	26年3月期	545,811 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	18,352,411 株	26年3月期2Q	17,629,866 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融緩和策や経済対策により堅調に推移したものの、消費税率引き上げによる個人消費の低迷や円安による原材料価格等の上昇もあり、全体として弱めの動きとなっています。海外においては、米国景気は回復基調が続いたものの、中国などの新興国でも成長の鈍化の兆しがみられ、景気は足踏みしつつあります。

自動車業界におきまして、国内においては、消費税率引き上げによる反動減の影響を受け、海外においては、北米市場は需要が底堅く推移しましたが中国や新興国では鈍化しつつあり、不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中で当社グループは、2020年までの中期経営計画「Dream 2020」のフェーズ1の3年目となる当期において、2015年の春に完成予定の「IMASENグローバル開発・研修センター」を設立することを決定し、10月2日に起工式を実施いたしました。この施設は、人材育成のため各種研修の実施と次世代の今仙グループの柱である自動車、福祉、航空宇宙、エレクトロニクス事業における新技術の創出及びコア技術・要素技術の研究を目的としています。

当第2四半期連結累計期間の売上高は55,614百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は2,143百万円（前年同期比9.9%減）、経常利益は為替差損益の影響により2,112百万円（前年同期比35.7%減）、四半期純利益は1,547百万円（前年同期比32.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、前連結会計年度まで自動車販売関連事業を営んでおりました名北自動車株式会社は、平成26年4月に清算したため、連結の範囲から除外しております。

(a) 自動車部品関連事業

自動車部品関連事業につきましては、北米及び中国の受注は増加したものの、タイ及び国内で減益になったことにより、売上高は53,483百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は2,137百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

(b) ワイヤハーネス関連事業

航空機関連向け、工作機械関連向けとも受注は増加したものの、受注増による人件費等の増加により、売上高は1,584百万円（前年同期比27.4%増）、営業損失は11百万円（前年同期は6百万円の損失）となりました。

(c) 福祉機器関連事業

電動車いすの販売が増加したことから、売上高は546百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は15百万円（前年同期比312.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

当第2四半期末における総資産は、84,474百万円（前期末比3,734百万円の減少）となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の減少（1,219百万円）などにより、49,012百万円（前期末比1,913百万円の減少）、固定資産は、有形固定資産の減少（1,479百万円）などにより、35,462百万円（前期末比1,821百万円の減少）となりました。

(ロ) 負債

当第2四半期末における負債は、39,641百万円（前期末比6,006百万円の減少）となりました。流動負債は、27,121百万円（前期末比2,828百万円の減少）、固定負債は、社債の減少（3,032百万円）などにより12,519百万円（前期末比3,178百万円の減少）となりました。

(ハ) 純資産

当第2四半期末における純資産は、転換社債型新株予約権付社債の転換に伴う資本金の増加（1,515百万円）、資本剰余金の増加（1,515百万円）、為替換算調整勘定の減少（1,355百万円）などにより、44,833百万円（前期末比2,271百万円の増加）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は、2,668百万円（前年同期比10.2%減）、投資活動に使用した資金は、1,600百万円（前年同期比33.0%減）、財務活動の結果減少した資金は、1,821百万円（前年同期は67百万円の減少）となりました。

この結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は9,721百万円と前第2四半期末に比べ1,222百万円の増加となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,668百万円の増加となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が2,097百万円、減価償却費が2,797百万円、たな卸資産の増加額が518百万円であったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,600百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出が1,544百万円であったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,821百万円の減少となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出が901百万円、リース債務の返済による支出が741百万円であったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、下期に国内及び中国において主要得意先メーカーからの受注の減少が見込まれることなどから、前回発表予想を下回る見込みとなりましたので、平成26年5月13日に公表しました業績予想を修正いたします。

詳細は本日公表しております、業績予想の修正に関するお知らせをご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が446百万円減少、退職給付に係る負債が824百万円増加し、利益剰余金が818百万円減少しております。なお、損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,015	10,272
受取手形及び売掛金	22,283	21,063
電子記録債権	3,893	4,814
たな卸資産	9,473	9,722
その他	4,260	3,140
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	50,925	49,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,690	8,413
機械装置及び運搬具（純額）	9,764	9,980
その他（純額）	11,738	10,320
有形固定資産合計	30,194	28,714
無形固定資産		
その他	1,553	1,378
無形固定資産合計	1,553	1,378
投資その他の資産		
投資有価証券	4,787	4,967
退職給付に係る資産	446	-
その他	374	460
貸倒引当金	△73	△58
投資その他の資産合計	5,535	5,369
固定資産合計	37,283	35,462
資産合計	88,209	84,474
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,734	7,974
電子記録債務	6,535	6,645
1年内償還予定の社債	5	-
短期借入金	4,553	4,602
未払法人税等	613	405
賞与引当金	1,247	1,269
製品保証引当金	152	148
その他	8,107	6,075
流動負債合計	29,950	27,121
固定負債		
社債	3,370	338
長期借入金	5,310	4,587
退職給付に係る負債	1,503	2,327
その他	5,513	5,266
固定負債合計	15,697	12,519
負債合計	45,647	39,641

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,613	6,129
資本剰余金	4,346	5,862
利益剰余金	30,322	30,821
自己株式	△439	△440
株主資本合計	38,843	42,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,816	1,883
為替換算調整勘定	1,590	234
退職給付に係る調整累計額	△76	△16
その他の包括利益累計額合計	3,330	2,101
少数株主持分	387	359
純資産合計	42,561	44,833
負債純資産合計	88,209	84,474

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	53,192	55,614
売上原価	46,450	48,726
売上総利益	6,741	6,888
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,549	1,645
給料手当及び賞与	1,122	1,165
賞与引当金繰入額	176	182
退職給付費用	61	53
減価償却費	97	162
その他	1,357	1,535
販売費及び一般管理費合計	4,363	4,745
営業利益	2,378	2,143
営業外収益		
受取利息	49	67
受取配当金	46	60
為替差益	891	-
その他	87	123
営業外収益合計	1,076	251
営業外費用		
支払利息	122	172
為替差損	-	88
貸倒引当金繰入額	22	-
その他	21	21
営業外費用合計	166	282
経常利益	3,288	2,112
特別利益		
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産処分損	33	17
特別損失合計	33	17
税金等調整前四半期純利益	3,255	2,097
法人税、住民税及び事業税	1,179	667
法人税等調整額	△252	△144
法人税等合計	927	523
少数株主損益調整前四半期純利益	2,328	1,573
少数株主利益	35	25
四半期純利益	2,293	1,547

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,328	1,573
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	347	66
為替換算調整勘定	1,639	△1,365
退職給付に係る調整額	-	60
その他の包括利益合計	1,987	△1,239
四半期包括利益	4,316	334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,253	318
少数株主に係る四半期包括利益	63	16

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,255	2,097
減価償却費	2,542	2,797
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△16	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	22	21
受取利息及び受取配当金	△96	△127
支払利息	122	172
固定資産処分損益 (△は益)	32	15
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,584	△352
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△495	△518
仕入債務の増減額 (△は減少)	628	△144
その他	△92	△489
小計	3,318	3,470
利息及び配当金の受取額	92	139
利息の支払額	△121	△174
法人税等の支払額	△315	△767
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,973	2,668
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	7	△12
有形固定資産の取得による支出	△2,374	△1,544
有形固定資産の売却による収入	14	103
投資有価証券の取得による支出	△25	△101
その他	△11	△44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,388	△1,600
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,003	△65
長期借入れによる収入	850	167
長期借入金の返済による支出	△971	△901
社債の償還による支出	△5	△5
リース債務の返済による支出	△738	△741
配当金の支払額	△176	△230
その他	△30	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67	△1,821
現金及び現金同等物に係る換算差額	408	16
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	925	△737
現金及び現金同等物の期首残高	7,573	10,458
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,498	9,721

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、転換社債型新株予約権付社債に係る新株予約権の行使が行われた結果、資本金が1,515百万円、資本準備金が1,515百万円それぞれ増加し、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が6,129百万円、資本準備金が5,862百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品関連 事業	ワイヤー ハーネス 関連事業	福祉機器 関連事業	自動車 販売関連 事業	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	51,054	1,243	513	380	53,192	—	53,192
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	0	6	6	△6	—
計	51,054	1,243	513	386	53,198	△6	53,192
セグメント利益又は損失(△)	2,377	△6	3	△1	2,373	4	2,378

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

- 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品関連 事業	ワイヤー ハーネス 関連事業	福祉機器 関連事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	53,483	1,584	546	55,614	—	55,614
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	32	13	0	46	△46	—
計	53,516	1,597	546	55,661	△46	55,614
セグメント利益又は損失(△)	2,137	△11	15	2,141	2	2,143

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- 2 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度まで自動車販売関連事業を営んでおりました名北自動車株式会社は、平成26年4月に清算いたしました。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。